【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2007-190418(P2007-190418A)
【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2007-029
【出願番号】特願2007-113098(P2007-113098)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　　7/02　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　　7/02　　　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　　7/02　　　３１５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月22日(2008.10.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
識別情報を表示画面に表示する表示装置と、所定の始動条件の成立を検出する検出手段と、その検出手段によって前記始動条件の成立が検出された場合に抽選を行う抽選手段と、前記表示装置に前記識別情報の動的表示を行わせると共に前記抽選手段による抽選結果に対応した前記動的表示の表示結果を現出させる変動実行手段と、前記抽選手段により所定の抽選結果を導出した場合に第１状態から遊技者にとって有利な第２状態に切り替えられる変動入賞手段とを備え、前記所定の抽選結果が導出されると、前記動的表示に予め定めた表示結果を現出させると共に前記変動入賞手段によって遊技者に所定の遊技価値を付与する遊技機において、

前記表示装置による動的表示の待機回数に対応した回数情報を記憶する待機回数記憶手段と、

前記動的表示の待機回数が変更される場合に、前記待機回数記憶手段に記憶された回数情報を前記変更される前記動的表示の待機回数に対応した回数情報に更新する待機回数更新手段と、

前記待機回数記憶手段によって記憶された回数情報に対応して更新され、前記待機回数を各回数毎に設定された複数種類の態様で所定の回数表示部に表示する待機回数表示手段と、

その待機回数表示手段を制御して、前記回数表示部の態様を前記待機回数記憶手段に記憶された回数情報に対応した態様に更新する回数表示更新手段と、

前記待機回数表示手段により前記待機回数が表示される回数表示部の表示面側を開放した開放位置とその回数表示部の表示面側に重なる閉鎖位置との間を移動可能に支持される前面側部材と、

その前面側部材に駆動力を付与する駆動手段と、

所定のタイミングで前記駆動手段を動作させて前記前面側部材の動作を制御する駆動制御手段と、

前記検出手段によって検出された始動条件の成立に基づいて遊技者にとって有利な特定の遊技状態へ遊技状態を遷移させるか否かを判定する遊技状態判定手段とを備え、

前記駆動制御手段は、その遊技状態判定手段の判定に基づいて前記駆動手段を動作させ

、前記前面側部材を前記閉鎖位置に配置する駆動実行手段を備え、
　前記回数表示部は、前記表示装置の表示画面の一部に設けられ、
　前記前面側部材が前記表示画面の一部に重ならない位置と重なる位置とを移動可能に前記前面側部材を支持する支持部材が設けられていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
　しかしながら、かかる遊技機では、その変動表示の実行に意外性を付与することが難しいという問題点があった。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
　この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、識別情報を表示画面に表示する表示装置と、所定の始動条件の成立を検出する検出手段と、その検出手段によって前記始動条件の成立が検出された場合に抽選を行う抽選手段と、前記表示装置に前記識別情報の動的表示を行わせると共に前記抽選手段による抽選結果に対応した前記動的表示の表示結果を現出させる変動実行手段と、前記抽選手段により所定の抽選結果を導出した場合に第１状態から遊技者にとって有利な第２状態に切り替えられる変動入賞手段とを備え、前記所定の抽選結果が導出されると、前記動的表示に予め定めた表示結果を現出させると共に前記変動入賞手段によって遊技者に所定の遊技価値を付与するものであり、前記表示装置による動的表示の待機回数に対応した回数情報を記憶する待機回数記憶手段と、前記動的表示の待機回数が変更される場合に、前記待機回数記憶手段に記憶された回数情報を前記変更される前記動的表示の待機回数に対応した回数情報に更新する待機回数更新手段と、前記待機回数記憶手段によって記憶された回数情報に対応して更新され、前記待機回数を各回数毎に設定された複数種類の態様で所定の回数表示部に表示する待機回数表示手段と、その待機回数表示手段を制御して、前記回数表示部の態様を前記待機回数記憶手段に記憶された回数情報に対応した態様に更新する回数表示更新手段と、前記待機回数表示手段により前記待機回数が表示される回数表示部の表示面側を開放した開放位置とその回数表示部の表示面側に重なる閉鎖位置との間を移動可能に支持される前面側部材と、その前面側部材に駆動力を付与する駆動手段と、所定のタイミングで前記駆動手段を動作させて前記前面側部材の動作を制御する駆動制御手段と、前記検出手段によって検出された始動条件の成立に基づいて遊技者にとって有利な特定の遊技状態へ遊技状態を遷移させるか否かを判定する遊技状態判定手段とを備え、前記駆動制御手段は、その遊技状態判定手段の判定に基づいて前記駆動手段を動作させ、前記前面側部材を前記閉鎖位置に配置する駆動実行手段を備え、前記回数表示部は、前記表示装置の表示画面の一部に設けられ、前記前面側部材が前記表示画面の一部に重ならない位置と重なる位置とを移動可能に前記前面側部材を支持する支持部材が設けられている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
　ここで、駆動制御手段が所定のタイミングで駆動手段を動作させると、駆動手段により

前面側部材に駆動力が付与され、前面側部材は、開放位置と閉鎖位置との間を可動する。前面側部材が可動して閉鎖位置に配置されると、前面側部材が回数表示部の表示面側に重なり、回数表示部が視認困難にされた閉鎖状態となる。一方、前面側部材が開放位置に配置されると、前面側部材による回数表示部の閉鎖が解除されて回数表示部の表示面側が開放される。この開放状態においては、遊技者は、回数表示部の態様に基づいて動的表示の待機回数を視認することができる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
本発明の遊技機によれば、待機回数表示手段によって動的表示の待機回数が表示される回数表示部は、表示装置の表示画面の一部に設けられ、駆動制御手段が所定のタイミングで駆動手段を動作させることにより可動する前面側部材によって視認困難にされる。遊技者にとっては、一時的に動的表示の待機回数を視認困難な状態となる。動的表示の待機回数は一般には常時表示され続けるものであるので、この動的表示の待機回数が視認困難な状態における遊技は、変動表示の待機回数が判り難いものとなる。よって、変動表示の実行に意外性を付与することができるという効果がある。